

令和2年11月16日

由利本荘市総合教育会議

議 事 録

□日時

令和2年11月16日（月） 午後1時30分

□場所

広域行政センター 特別会議室

□出席者

市長	長谷部	誠
教育委員会教育長	秋山	正毅
教育委員会教育長職務代理者	桑山	明久
教育委員会委員	佐藤	道昭
教育委員会委員	小坂	綾子
教育委員会委員	高橋	重剛

□案件

- (1) 由利本荘市の教育振興に係る主要施策について（令和2～5年度の主要施策）
- (2) 由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱に基づいた教育行政の推進状況について

1. 地域力を活かした学校づくりと学校力を活かした地域づくり
2. 進取の気性を育む学校教育の推進
3. 生涯学習の推進と地域活動の活性化
4. 読書活動の推進と図書館機能の充実
5. 芸術文化の振興と文化財保護活動の推進
6. スポーツ立市の推進
7. 教育施設等の整備と充実

(事務局職員)

総務部長	小川	裕之
教育次長	武田	公明
総務部次長兼総務課長	小松	等
教育委員会政策監兼教育総務課長	三浦	良隆
教育委員会主幹兼学校教育課長	土倉	新也
教育委員会主幹兼生涯学習課長	佐々木	直樹
教育委員会スポーツ課長	伊藤	望
教育委員会文化課長	大城	孝一
教育委員会中央図書館長	松永	美貴子
教育委員会本荘教育学習課長	渡部	正人
教育委員会生涯学習課木育遊び推進室長	佐藤	弘幸
教育委員会教育総務課参事兼課長補佐兼総務班長	阿部	良博
総務部総務課参事兼課長補佐	加藤	弘貴

(開会 午後1時30分)

小松総務課長

ただ今から「令和2年度由利本荘市総合教育会議」を開会いたします。はじめに長谷部市長よりごあいさつをお願いします。

長谷部市長

開会にあたり、一言、あいさつ申し上げます。本日は、ご多忙のところご出席をいただき誠にありがとうございます。また、皆様には日頃より、市政の推進に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年には新型コロナにより、全ての小中学校において、長期間の休校や、各種行事が中止・縮小され、現在も感染防止策と、新たな生活様式の徹底が求められるなど、教育現場においても大きな影響を受けております。こうした中、市では各学校に手指消毒液や非接触体温計などの衛生用品を配置したほか、新たに矢島小学校と中学校十校全ての普通教室に、マスクの着用でも快適な学習環境を確保するため、エアコンを設置する工事を進めているところであります。さらにICT環境の充実を図るため、ギガスクール構想事業により、全ての小中学生に一人一台タブレット端末を導入する準備を進めております。

さて、本市を代表する施設である「鳥海山木のおもちゃ美術館」の隣に、去る10月11日「あゆの森公園」を、オープンいたしました。10月18日には、入館者が15万人を達成するなど大変好評であり、他の施設とともに更なる魅力アップを図りながら、交流人口の拡大と、賑わいの創出に努めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。本日の総合教育会議は、教育環境の充実を図る上で、非常に重要な会議であります。昨年度に新たに定めた「教育に関する大綱」を進めていくうえでも、皆様の忌憚のないご意見をお願い申し上げまして、開会のあいさつといたします。

小松総務課長

ありがとうございました。本日、司会を務めさせていただきます総務課の小松と申します。よろしくお願いたします。本日の会議の進行であります。約1時間ほどの協議を予定してございます。終了時刻を14時30分頃と予定しておりますので、ご協力よろしくお願いたします。なお本日の会議であります。市長と教育委員の皆様との意見交換の場でございます。じっくりと議論いただきまして、実りのある会にさせていただきますよう、よろしくお願いたします。

それでは次第2の、報告と協議に入りたいと思います。案件につきまして、お手元の次第と資料の順に担当からご説明いたしまして、説明が終わりましたらその都度皆様からご質問、ご意見をお受けいたします。最後に次第の3意見交換のところ、皆様から一言ずつご発言をお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。それでは早速、報告と協議に入ります。はじめに、「(1) 由

利本荘市の教育振興に係る主要施策について」教育次長から説明をお願いいたします。

武田教育次長

((1) 由利本荘市の教育振興に係る主要施策について説明した)

小松総務課長

説明が終わりましたが、皆様からご質問やご意見はありますでしょうか。

(質問、意見等特になし)

それでは、次に「(2) 由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱に基づいた教育行政の推進状況について」、施策1から施策7までの主要事業を、それぞれの担当課長が説明いたします。最初に、「施策1. 地域力を活かした学校づくりと学校力を活かした地域づくり」についてと、「施策2. 進取の気性を育む学校教育の推進」について、学校教育課から説明をお願いいたします。

土倉主幹
兼学校教育課長

(1. 地域力を活かした学校づくりと学校力を活かした地域づくり
2. 進取の気性を育む学校教育の推進について説明した)

小松総務課長

説明が終わりましたが、皆様からご質問やご意見はありますでしょうか。

(質問、意見等特になし)

次に「施策3. 生涯学習の推進と地域活動の活性化」について、生涯学習課から説明をお願いいたします。

佐々木生涯学習課長

(3. 生涯学習の推進と地域活動の活性化について説明した)

小松総務課長

説明が終わりましたが、皆様からご質問やご意見はありますでしょうか。

(質問、意見等特になし)

次に「施策4. 読書活動の推進と図書館機能の充実」について、中央図書館から説明をお願いいたします。

松永中央図書館長

(4. 読書活動の推進と図書館機能の充実について説明した)

小松総務課長

説明が終わりましたが、皆様からご質問やご意見はありますでしょうか。

(質問、意見等特になし)

次に「施策5. 芸術文化の振興と文化財保護活動の推進」について、文化課から説明をお願いいたします。

大城文化課長

(5. 芸術文化の振興と文化財保護活動の推進について説明した)

小松総務課長

説明が終わりましたが、皆様からご質問やご意見はありますでし

ようか。

(質問、意見等特になし)

次に「施策6. スポーツ立市の推進」について、スポーツ課から説明をお願いいたします。

伊藤スポーツ課長

(6. スポーツ立市の推進について説明した)

小松総務課長

説明が終わりましたが、皆様からご質問やご意見はありますでしょうか。

(質問、意見等特になし)

次に「施策7. 教育施設等の整備と充実」について、教育総務課から説明をお願いいたします。

三浦教育総務課長

(7. 教育施設等の整備と充実について説明した)

小松総務課長

説明が終わりましたが、皆様からご質問やご意見はありますでしょうか。

(質問、意見等特になし)

ただいま、七つの基本施策の主要な事業について説明が終わりましたので、3「意見交換」に入ります。ここまでの説明につきまして、皆様からご意見を頂戴したいと思います。それでは、お一人ずつご発言いただきたいと思います。はじめに、桑山職務代理者をお願いいたします。

桑山教育長職務代理者

大変多岐にわたって実績を上げられているのだと感心して説明を聞いておりました。一言申し上げたいことがあるのですが、私は不登校問題に長年取り組んでまいりました。ふれあい教室を市独自で開設していることにつきまして、大変高く評価される事業を行っていると思っております。私の所に相談に来ている生徒の皆さんも、ふれあい教室の先生を信頼して通うことができるとお話ししています。ふれあい教室は、かれこれ約三十年が経ちます。現場の生徒への対応だけではなく、当然お金もかかることではありますが、研究機能を持たせるように、発展させる方向で検討していただきたいと思っております。不登校の原因にはいろいろなものがございまして、子供さん自身の病質といえますか、自閉症スペクトラム障害が多いと言われております。学校に適應できずに不登校になってしまう。そういった子供さんも安心して通える学校のあり方とはどうなのか。また、私のところに相談に来る子供さんからの一方的に聞くことではありますが、学校の教職員からこんなことをさせられて、勇気を振り絞って登校したのに、また行けなくなってしまうという相談もあります。ですから、教職員の生徒への対応の仕方が従来の接し方が通用しなくなっているのではないかと思います。体罰の禁止は徹底されておりますが、体罰には至らなくても生徒の受け止め方によ

って戸惑いを感じてしまうことがあります。先生も気が付いていなくて、なぜこの言葉で傷ついたのかと思うことがあると思います。このような事例を蓄積し、分析する機能をふれあい教室に持たせるような措置や発展させる方法を検討いただければと思います。説明を聞いておりました。以上です。

小松総務課長

ありがとうございました。
それでは佐藤委員からよろしくお願いします。

佐藤委員

説明ありがとうございました。また、市では教育に多額の予算を充てていただいております。それぞれの施設の充実、子供たちの育成、さらに一般の方々の教育という点でご尽力くださりましてありがとうございます。

I C Tによりまして、学校でも電子化が進んでいくというのは、今の時代必要なことですが、教師も新しいことを学んで、それを生徒に教えるということは教師にとって大きな負担がかかります。負担をできるだけ軽減するために、例えば専門職からの講習や指導を受けるなど、教師一人が多く抱え込まないようにしていただきたいというのが危惧していることの一つであります。また、今後生徒の数がかなり少なくなってまいります。学校運営が厳しくなってくる点もあろうかと思っております。少子化に対することは福祉担当部署等と対応していかなければならないことだと思っておりますが、少人数でも学校を運営していける地域の力、やはり一つの地域に一つの小中学校という原則を守りながら続けていかなければならないと思っております。その対応といたしまして、地域からもっともっと力をいただいてコミュニティスクールを充実させながら、学校を運営していただきたいと思っております。また、最後になりますが、今年はコロナウイルスの影響で皆さん大変な思いをされています。学校の行事も当然ですが、地域との繋がりが今年ではできなかった学校が多くなっています。やはり地域に根ざした学校というものを考えますと、こういった状況でもできる状況を模索していく、コロナなのでやらないというのは、今年初めなので大変ですが、それでもできるような地域と一体となれる行事を考えていただき、郷土愛を子供たちに植え付けていきたいと思っております。

小松総務課長

ありがとうございました。続きまして、小坂委員、よろしく願います。

小坂委員

子供たちの教育にたくさんの予算を充ていただきありがとうございます。特に新山小学校、矢島小学校など、エアコンを諦めていた学校にも設置していただけることは、今通っている子供たちを大切にいただける施策であり、本当にありがたいと思っております。また各校全員に一台タブレットを配置していただけるというこ

とで、ハード面では大変充実されるようです。これからは学校で有効に使うということが大切になってくると思います。先日授業の視察に行った際、学校内のWi-Fiのスピードが遅く、繋がらない状態となっていました。サクサク動く環境整備を進めてほしいと思います。また、例えば学校が全面休校となったときに、家庭にWi-Fi環境が整っていない場合でも、学童やカダーレなどの環境を充実させることで、安心して過ごせると思います。ふれあい教室の子供たちが、学校の授業を見られる環境が整えられれば、学びを深めて新しい目標を立てられるのではないかと思います。せっかく設置された機器を十分活用できるようにしていただきたいと思います。子供たちも喜ぶと思います。

小松総務課長

ありがとうございました。続いて高橋委員よろしくお願ひします。

高橋委員

説明を聞いて感じたことが三点あります。はじめに、いじめに関してですが、桑山先生からもご指摘がありましたとおり、事例の集積による研究が必要だと思いました。犯罪に至るような酷いじめや、自殺はあってはならないと思います。従来からある、些細なからかいが、SNSとか、生徒の資質、親の資質によって非常に複雑になってきていると感じています。些細なもの一つ一つを分析して、持ち寄って、共通認識としていくことの積み重ねにより、重大事案を無くせると思いました。あと二点は感想になりますが、私には三歳と一歳の子供がおりますが、木のおもちゃ美術館に毎週通っています。それに子供プラザあおぞらには、雨が降る日に通っています。非常に設備や衛生環境が素晴らしいこともあります。スタッフの方々が実にきめ細かくて、気持ちよく利用できています。深く感謝しております。最後になりますが、今年は春の学校訪問のみで、秋に実施できませんでした。私が教育委員となって、定例会等に出席し意思決定に関わっておりますが、ほぼ何も言うことは無いのですが、そこに正当性を与えられるために、学校の先生方や生徒さんたちとふれあうことにより、得られるものがあると思いますので、コロナが一日でも早く収束して、秋以降の教育委員の責務を果たしていきたいと思ひました。

小松総務課長

ありがとうございました。秋山教育長からお願いいたします。

秋山教育長

私からは二点お話しさせてください。一つは先ほどから話題となっております、ICTであります。タブレットにより何が変わるかといいますと、キーワードになるのが「個別に最適化された教育」です。要するに出来る子は出来るなりに進む、なかなかわからないことは学び直しが出来る自由度をその子供のなかで持てる、そのためのツールがタブレットであるという話がありました。今後それに向けて進めてまいります。同時に学校に行かなくてもよくなるの

ではなく、行きたくなるような、先生や集団、人間性とか温かみのようなものも求められる時代になってくるのではないかと思います。

もう一点は、学校教育、社会教育を支えてくださっている、地域の方々を再確認して、今後どのように教育委員会として支援していくのかが問われているのではないかと思います。学校にお手伝いに来ていただいたり、街の中で教えてくださっている方が沢山いらっしゃいますが、皆さん高齢化してきており、次世代に繋がるものがあるのか非常に不安であります。教育委員会としては地域の教育力や文化力を上げるためにも、そういったところに力を注ぐべきだと考えますので、今後の検討課題にしたいと思います。

小松総務課長

ありがとうございました。最後に長谷部市長からお願いいたします。

長谷部市長

日頃より、教育委員の皆様には、教育行政の振興にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。

私も日頃より心配していることがございます。先ほど桑山委員、高橋委員からもご意見がありましたが、いじめと不登校であります。かなり深刻な問題となっております。先生方も学校もいじめのアンケートを実施したり、一生懸命取り組んでいただいているところですが、生徒の異変に気付きながら受け流してしまうこともあるのではないのでしょうか。丁寧に、観察力を養って初期対応に当たっていただければと思います。先生方も大変多忙で厳しい状況にあると言われておりますが、生徒を見る力を養い、深刻に受け止めて対応することと、子供たちと絆を持つことが非常に大事だと思います。

また、これからは、各自治体の予算はさらに厳しくなります。そういった中で学校の改築、改修、統合学校の建設等がございます。予算の裏付けがなければ学校建設等もできません。先ほどの説明でもありましたが、6年後には百人以下の学校が9校になる見込みのようです。地域の学校のあり方も、直面してからでは遅すぎますので、計画を練って早め早めの対応が必要になってくると思います。

教育委員の皆様、担当部署の課長以下職員一同、共通認識を持って将来にわたって子供たちが安心して教育が受けられるよう頑張っていたいただければと思います。よろしくお願いいたします。

小松総務課長

皆様ありがとうございました。以上をもちまして意見交換を終了いたしますが、最後に皆様、事務局から報告等ございませんか。

武田教育次長

本日は様々なご意見ありがとうございました。いじめや不登校、体罰の禁止など問題は変遷し、学校を取り巻く環境は厳しくなっておりますが、学校、教育委員会、そして様々な機関と連携を図りながら子供たちの教育の充実に努めてまいりたいと思います。厳しい財政状況ではございますが、当初予算に占める教育費の割合は、こ

れまで8パーセント程度でありましたが、今年度につきましては、11.5パーセントとなっております。これから少子化の波が一層厳しくなりますが、市長が述べましたとおり、早め早めの対応が必要と考えておりますので、今後ともよろしくご指導をお願いいたしまして、事務局からの最後のお話とさせていただきます。ありがとうございました。

小松総務課長

予定した時間を若干経過しておりますが、以上をもちまして、由利本荘市総合教育会議を閉じさせていただきます。どうもありがとうございました。

(閉会 午後2時32分)